



平成 27 年 11 月 17 日

国道 192 号の安全性や美観が向上します！

～徳島市庄町地区の電線共同溝工事に着手～

国道192号徳島市庄町地区において、道路の地下空間を利用して、電力線や通信線等をまとめて収容する「電線共同溝事業」による電線類の地中化工事に着手します。

事業区間 : 徳島市庄町1丁目 ～ 徳島市庄町4丁目

事業延長 : 約 890m (南北 1,760m)

- 工事で影響する上下水道管や電柱等については、本工事にあわせて、各管理者（徳島市、NTT 及び四国電力）にて、移設工事等を行っていきます。
- 工事は、歩道や車道の一部を規制して行いますので、工事期間中は、近隣の皆様や道路利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「No.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

【問い合わせ先】○:主たる問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

副所長

ひのきだ 檜田 幸伸

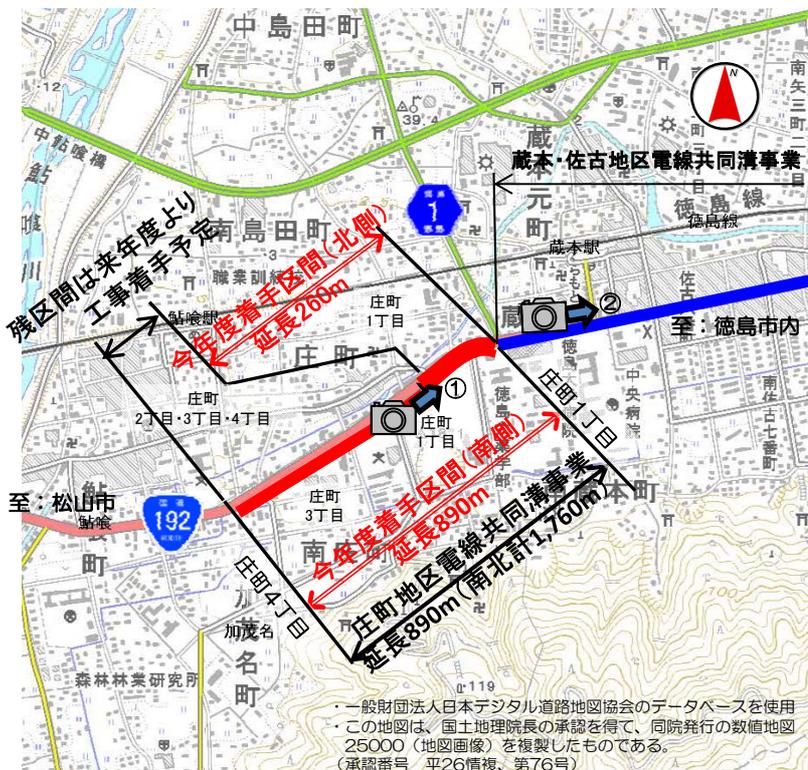
電話(代表) 088-654-2211
(内線) 205

○交通対策課

すけた とよはる
助田 豊治

電話(直通) 088-654-9623
(内線) 471

位置図



※図中国道区間において
青色：電線類の地中化等済

現況



平成27年10月撮影

事業目的

無電柱化は、「**景観・観光**」、「**安全・快適**」、「**防災**」の観点から推進しています。

「景観・観光」

景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成します。

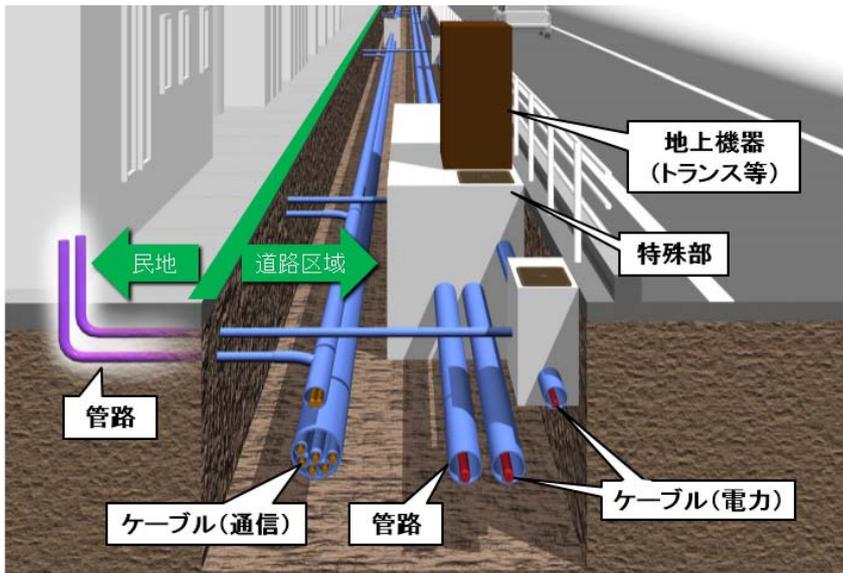
「安全・快適」

無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保します。

「防災」

大規模災害(地震、竜巻、台風等)が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止します。

電線共同溝(イメージ)



電線共同溝方式は、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容する無電柱化の手法です。沿道の各戸へは地下から電力線や通信線等を引き込む仕組みになっています。

国土交通省HPより引用

URL:<http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chicyuka/index.html>

整備効果

国道192号 ^{くらもと さこ} 蔵本・佐古地区電線共同溝事業
(H24年度完成)



平成17年3月撮影



平成20年6月撮影

- 電柱や電線類がなくなったことにより、道路の見通しが良くなり、通行者、信号機、道路標識が見易くなるなど交通の安全性が向上しました。
- また、歩道中にある電柱が無くなったことにより、歩道の有効幅員が広がり、安全性・快適性が確保された通行空間となりました。